



安全な場所に停止後

さて
ここから先の道は
ナビで確認

お客さまは
どーこだ?

ただど...

この先の道を
調べて...

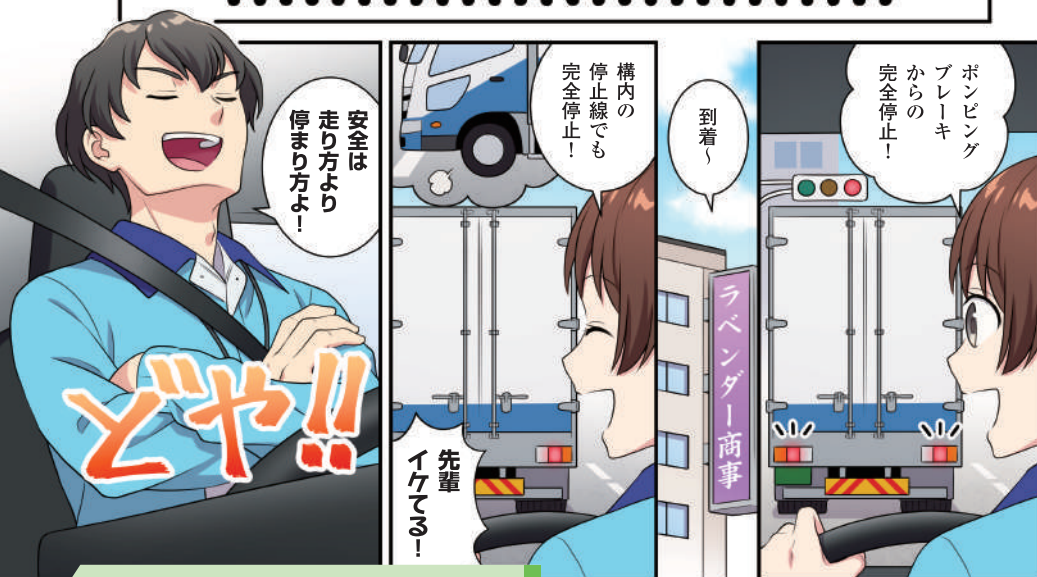
俺の後に
ついてきて!

速水先輩!

綾瀬さん
どーした?

ありがとうございます!

ラベンダー
商事様の
新工場なら
今から行くよ



到着

ポンピング
ブレーキ
からの
完全停止!

構内の
停止線でも
完全停止!

安全は
走り方より
停まり方よ!

先輩
イケてる!

ラベンダー商事

どや!!

次で「停まり方」のポイントを解説!

・・・今日も快晴!・・・ トラックドライバー日誌

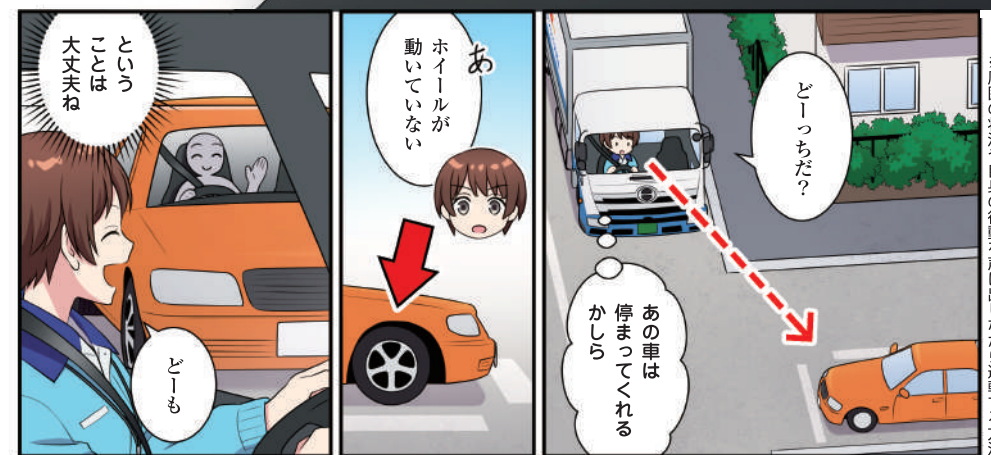
「安全・安心」に欠かせない取り組みを、サンライズ運送に勤めるスタッフたちそれぞれのエピソードを通じて紹介。

第26話 安全は「走り方」より 「停まり方」

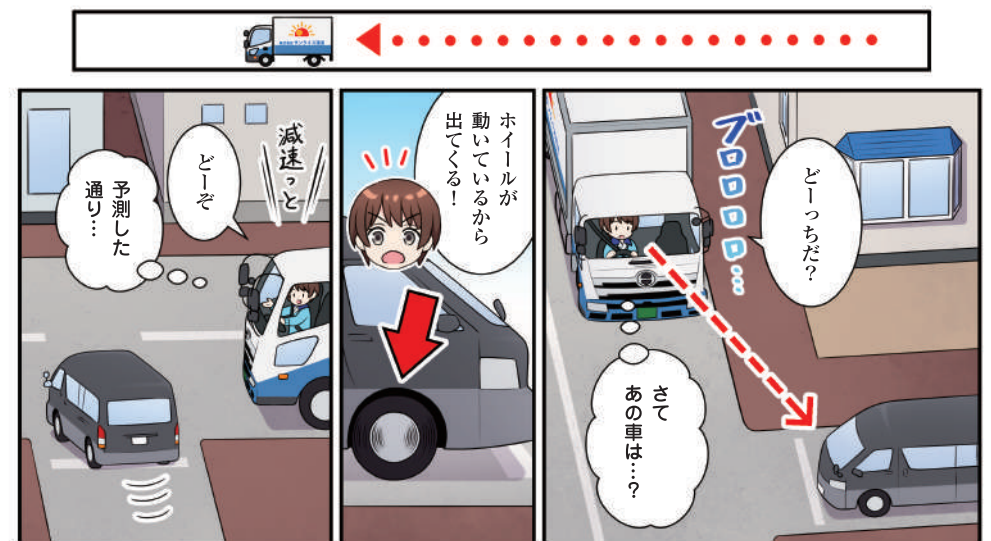
今日も
コメントリー運転
を実践!

左右確認
よし

ドライバー
綾瀬 小陽 (24)



※周囲の状況や自身の行動を声に出しながら運転する方法



一旦停止は、「完全に停止」!

「完全に停止し、確認」をすることが自分の仕事と考えることで、確認が習慣になり、結果的に事故防止につながります。自社で停止の練習をするのもオススメです。

「止まれ」の文字が書かれた道路



目指す
停止ラインに設定

「止」の下の横線で停まろうとすると「早めの停止=手前で停止」が容易に。もし、横線を超えてしまっても停止線の手前で正しく停まれる確率が高くなります。

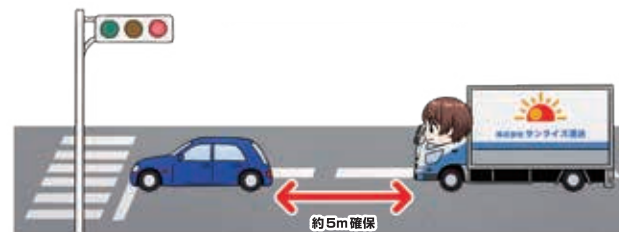
自社では



一旦停止は1秒(以上)停止を!

赤信号での待ち方が安全な人は、青信号になって走りだしても安全な人

信号待ちで車間距離を長くとする人は、走行中も車間距離をキープします。一方、信号待ちでの車間距離が短い人は、走行中の車間距離も短い(前車との距離を確保してなくても怖く思わない)傾向です。



信号待ちでの車間距離は、クルマ1台分(約5m)空けて停車しましょう!

マンガ制作: ad-manga.com

「完全に停止、そして確認」を
習慣化しよう

「停止しながら確認する」とは、危険な「ながら運転」と同じ。完全停止してから確認を。
安全は「一」と「よー」の繰り返しです。

「走り方」より「停まり方」

あなたがドライバーなら、誰かに運転してもらっている時に思わず右足に力が入った経験があるのでは? それは自分と比較して、ブレーキのタイミングが違う(遅い)場合に感じる違和感からです。

ドライバーは1日に何度も信号待ちをし、待ち方には人それぞれに違いがあります。それは「停まり方」の違いです。赤信号での待ち方が安全な人は、車間距離に余裕があったり、サイドブレーキを使用して完全停車していたりします。

また交通事故は、走るよりも「停まるのが苦手な人」が起こしがちです。特に交差点事故や追突事故は、「あと1秒」早く停止をすれば防げたケースも多くあります。交差点での1秒の確認やバック時の1回の確認を習慣にすることは、安全のプロを目指す上で最初の仕事といえます。そしてその確認を確実にするために、完全な停止をしましょう。安全は「走り方」より「停まり方」を優先しましょう。

赤信号は停まる⇨停止線も停まる

交通事故の防止には「停車」から取り組むと、効果が出やすくなります。なぜならば、疲れたら車を「停めて」休む(＝居眠り運転防止)、後進時には車を「停めて」降車して後方を目視で確認する(＝バック事故防止など)、安全行動において多く登場するキーワードは、「停まること」であるからです。

また、赤信号では停まっても、停止線では停まらない人もいます。停止線とは「24時間いつも赤信号」だと考えましょう。「一旦停止は1秒(以上)停止」です。「一旦停止箇所」で1秒以上停止しないのは、事故につながりかねない行動であるくらいに考えましょう。ちなみに、走り方より停まり方を重視する考え方は、信号機がない倉庫内でのフォークリフト運転時にも通じる安全の鉄則です。

停まってから確認、確認してから発進

忙しくなると面倒に感じて省きたくなるのが、「停止」と「確認」です。しかし、あらゆる交通事故の防止に不可欠な行動こそ、「この「停止」と「確認」にあるのです。

運転中に「停止しながら確認」することも、危険な「ながら運転」になります。無事故の継続を止めないためにも「停止してから確認」することを社内の会話で繰り返し確認しておきましょう。安全のためにも「今日も頑張っているぞ!」以上、「今日も頑張っているぞ!」と誓って出発を。安全は「一」と「よー」の繰り返しです。



高柳 勝二 (たかやなぎ かつし)

株式会社 プロデューズ代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社 プロデューズ設立。中小運送会社からの依頼が多い「提案型」研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい、眠くならない、分かりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度から2022年度まで国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。